

登下校で不審者に会ったり、いろいろなところで怖い事件がたくさん起きています。子どもたちが、安心して通学できない社会になりつつあります。どうしたらいいのかな？



町内の老人会や退職したお年よりたちが、子どもたちの安全な登下校を見守るため、ポイントにたち立ち番をするなど、「シニア見守り隊」などと呼ばれるボランティア活動が全国に広がっています。



ひと

だれもがひとりひとりを大切に、おたがいに支え合う社会

けいたい電話はいろいろな便利な機能があり、ユニバーサルなもの（誰でも使うことができるもの）だといわれていますね。どんな使い方ができるのかな？



耳の不自由な人はけいたい電話のメールで連絡を取り合います。弱視の人たちは、「ズームや白黒反転の機能」を活用しています。徘徊（居場所がわからなくなりうろろろすること）する認知症の人や、子どもたちに持たせて、その居場所の確認など安全を確保する方法としても使われています。



もの

だれもが手がるに、モノを利用し、質の高いサービスをうけることのできる社会

目の不自由な人がパソコンを使いたいときには、どうするのかな？

「音声読み上げソフト」を使うと文字を読み上げてくれるので、文字変換が簡単にできます。弱視の人には、文字を大きくうつし出してくれるソフトウェアもあります。



駅のホームにいて、「事故で電車が遅れる」とアナウンスがありました。このような情報は耳の不自由な人には、届きません。どうしたらいいのかな？

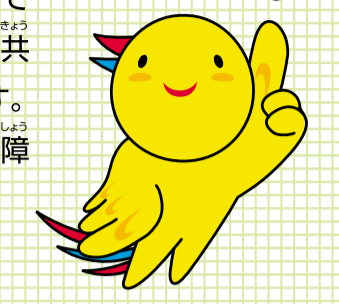
「電光掲示板」にニュースを流したり、電車の駅の通過点を示すことで、耳の不自由な人は安心して公共交通機関が利用できます。

情報

だれもが、いろいろな方法で、わかりやすい情報を手に入れ、交換できる社会

日本を訪れる外国人も多いけど、まちの標識がわからないと困ってしまいますよね。

最近、「英語・ハングル・中国語などがならべて書かれてある標識」をみるようになりました。公共施設で「ピクトグラム（絵文字）」が使われています。ピクトグラムがあれば、文字の読めない子どもや障害のある人たち、外国人にもわかりやすいね。



赤ん坊を連れてママは、トイレに行くとき、困るよね。それにおっぱいをあげるのはどこで、どうやってあげるのかな？

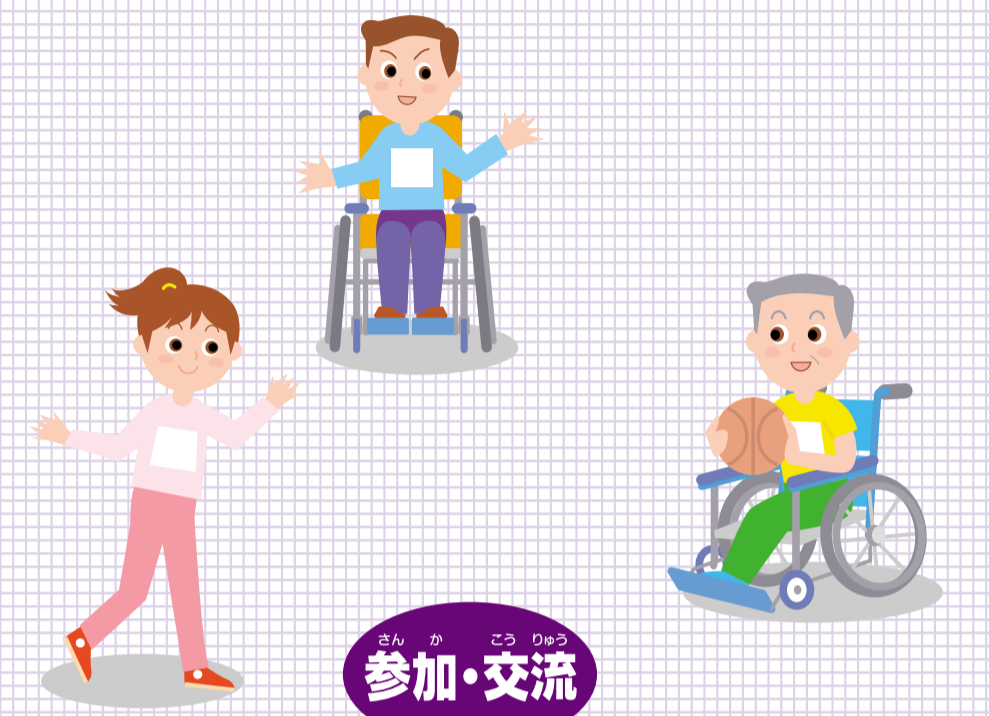
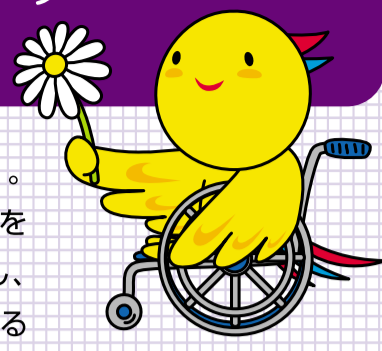
トイレにベビーベッドが置いてあり、ベビー専用のシートベルトのついた椅子も置かれています。また、オッパイルームがあり、赤ん坊連れママは、清潔な部屋で安心しておっぱいをあげることができます。

まち

だれもが、安心して住まい、家からまちまで安心して移動し、活動できる社会

障害のある人と一緒に楽しめるスポーツがありますよ。

障害のある人たちとともに「車いすバスケット」。マンガでもとりあげられました。スポーツをとおして、汗を流して交流するのは楽しいし、自然に友情が生まれます。車いすを使用する人たちもサッカーを楽しんでいます。



参加・交流

だれもが持っている力を十分発揮して働くなど、みんなと一緒に生き生き活動できる社会

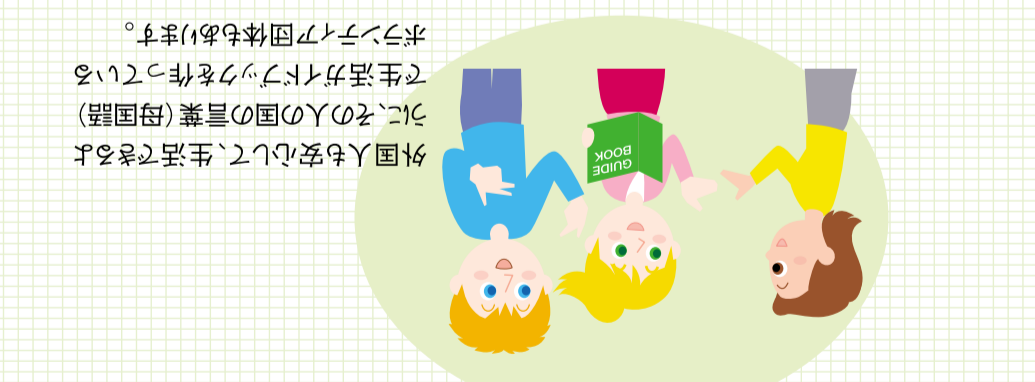
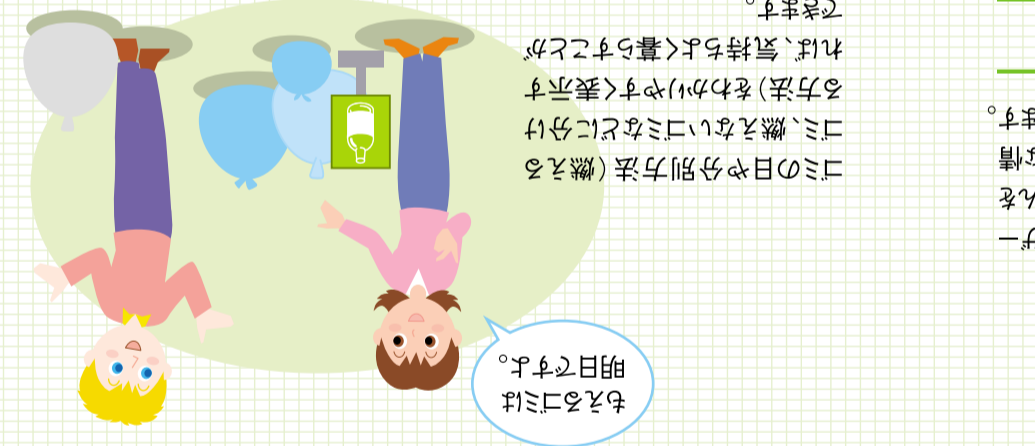


ユニバーサル社会

外国人も安心して生活できるよ。うに、その人の国の言葉（母国語）で生活がドアップを作っているボランティア団体もあります。

もえるコミは明日ですよ。

コミの日や分別方法（燃えるゴミ、燃えないゴミなどに分ける方法）をわかりやすく表示すれば、気持ちよく暮らすことができます。

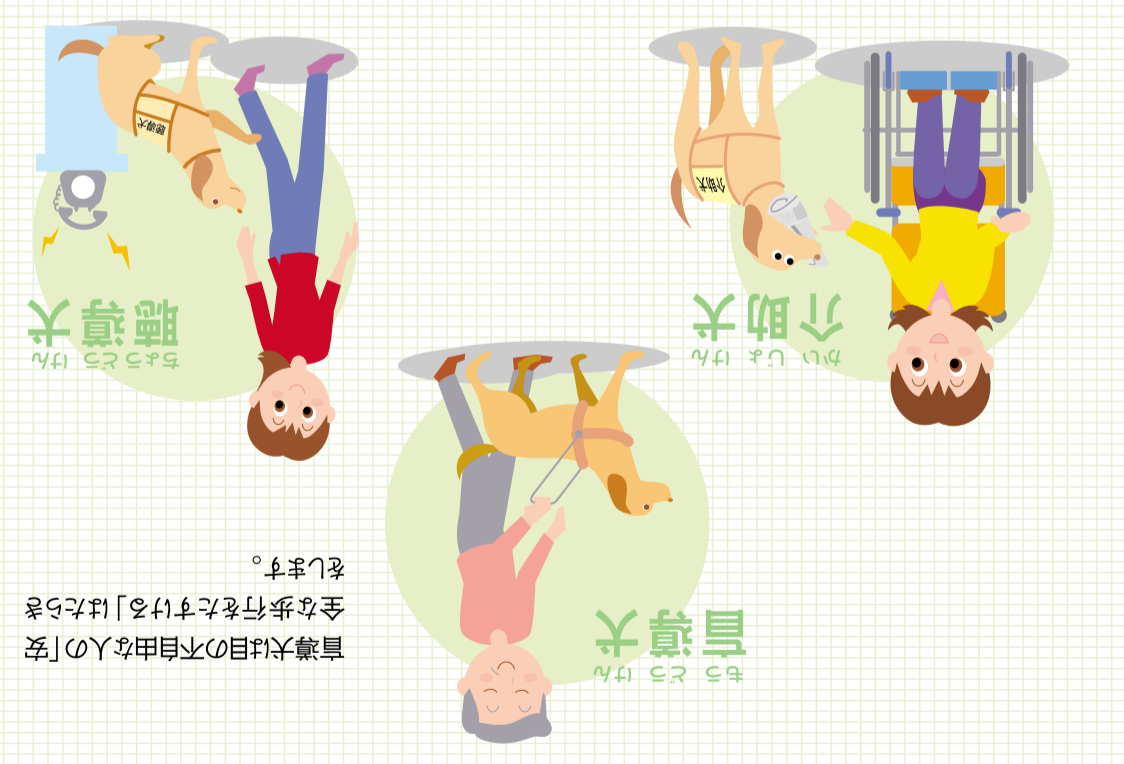


障害のある人たちやお年よりの生活をたすける大いいます。

盲導犬は目の不自由な人の「安全な歩行をたすける」はたらきをします。

介助犬は体の不自由な人のために、ものを指しあげたり、ふくを着るときや脱ぐときの手伝い、スリッパの操作、緊急時に人のたすけを呼ぶなどはたらきをします。

盲導犬の3種類を「補助犬」といいます。



ユニバーサル社会は、一人ひとりが自分のできる範囲で、知恵と力を合わせて活躍できます。

発行 兵庫県立総合リハビリテーションセンター  
問い合わせ 7651-2181 神戸市西区曙町1070  
連絡先: 078-927-2727

名前

だれもが、安心して気持ちよく生活するために、あなたも、社会の一員として、身近でどのようなことができるでしょうか。また、どんなアイデアが浮かびますか。

